

華城地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月25日（火） 午後6時～7時30分

【場所】 華城公民館 集会室

【出席者】 華城地域住民ほか 計49名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

ここまで各地区の検討会で受けられた感触をお聞きしたい。

昭和29年に車塚から現在地に来たときには随分慎重に検討しているはず、市民も利用慣れしているものを簡単に駅北にはできない。先人の考えを尊重して進めるべき。

駅北では事業費も30億も多く、期間も長くなる。現庁舎跡地の利用計画もまだない。駅北に行くと議会棟はどうなるか。周辺の代書屋さんも深刻に考えている。そういう付随することもきちっと説明をして欲しい。

今の進め方が駅北ばかりで、現在地も方向性をつけてもらいたい。3月議会での全会一致の決議は重い。その後、時間的にもないのでまだだろうが、駅北だけなのには反対。

●庁舎建設室長

各地区での感触としては、割と似通った質問が多い印象。例えば立体駐車場が危ないかとか、道路の渋滞が起こるのではとか、といったことには設計段階で検討していくということをお答えしている。まちづくりの関係では、将来性、事業効果などの具体性がないということもある。使い慣れしているということなどから駅北には行きたくないという意見も多い。跡地利用を決めると判断がしやすいとか、駅北ありきということも言われる。庁内で会議も早速進めており、早めに結論が出せるようにしていきたい。30億位違うという話があったが、選定の段階ではそれだけ開きがあったが、今はそれだけの違いはないと思う。はじき直してみないとわからないが、そこまでの差にはならないと思う。

◆質問者2

防府市民で今の防府市役所の位置がいいという人が70パーセントから80パーセント。これに対し、どうして防府駅北を主張されるか、民意に反する。その点について、

松浦市長に回答をお願いしたい。

◆質問者 3

庁舎を建替えるのには異論はないが、借金に当たる市債が40億超という中で新たに借金を作るより、小野田市長が20億節減したというようなこと、いいことは真似して、人口が減る中で、少ない予算でいい物を作る、借金を増やすことは感心しない。

庁舎はお金を儲けないので、市民が望むことをやるべき。防府の財政に応じたものを作り、もしお金を使うなら、中関の朝の渋滞を解消するとか将来的には考えたい。

◆質問者 4

長年馴染み親しんだ、交通の利便性が高く、警察、法務局が近くにあり、環境のよい現在の場所から駅前の四方を狭い道に囲まれ、交通の混雑が予想され、周りが飲食店やパチンコ店、ホテルに囲まれ、環境の良くない移転予定地に移転するのはなぜか。

自分の周りには庁舎移転建設を知らない人もかなりいるが、移転建設について市民投票の実施はなぜ検討されなかったか。

◆質問者 5

私は駅北に賛成。今、駅周辺にはマンションが沢山建ち始めている。駅周辺にそういうものが建ってくると資産価値が上がり、将来性があるということであくさんの人が駅北に集まってきている。そうすると税収が増える。単純に今いいところということではなくて、将来のまちづくり全体を考えて、そういう判断が必要ではないか。リーダーシップというのは、こういうまちづくりにしていく、こういう取組をしていくことが将来のためになるということをしちんと説明していくことが大事。駅北に移ることによって防府が大きく変わるきっかけを作っていくことが大事。景気は気持ち。そういうことで人が動いていく。今のまま建替えただけでは全然変わらない。将来の子供たちのために庁舎が起爆剤になる。

◆質問者 1

高齢化社会が進行中の本市の福祉事業を国際的水準に引き上げる方針を立て、高齢者に関わる全ての行政サービスを駅北に集中させて、国内はもとより国連からも先進視察団を受け入れるような施設を作り出すことを提案したい。

庁舎を駅北に建てるのは、アクセスの面でデメリットがあり、現状での建替え、駅北は今の提案で慎重審議をお願いしたい。

●市長

私は駅北ありきで話に入っているわけでは全くない。検討委員会で長時間ご協議いただいた結果の一定の結論を無にすることはできない。ご判断いただいたことに基づいて我々が計画を立ち上げ、それをご説明に上がっているという状況。

こうやって地域を回らせてもらっているが、各団体、若い人達の団体、商工会議所、老人クラブ、母親クラブ、食推の方々とか、ご説明していかなければならない。

民意に反するという話もあったが、選挙前に現有地が相応しいと言われる議員の方々

が出されたアンケートは見させていただいている。

新たな借金をこしらえる必要はないのではないかということについては、行政改革を随分やってきたので、ようやく防府市が庁舎建設のところまで来ることができたということでご理解をいただきたい。極論を申し上げますと、現有地の一番危ない1号館だけ建替えれば済むのかも知れない。しかし、折角、大きいお金を投入していくのであれば、まちなかで将来のまちづくりを視野に考えることが妥当という委員会の結論をいただいて、それに準じていくことが行政体としての役割。市民投票ということであったが、例えば無作為抽出による何千人かのアンケートを実施することも今後必要ではないかと思っている。

市民の皆様には一箇所で用事が済まないとか、ご不自由をおかけしているが、私自身は全然急いでいない。

●庁舎建設室長

福祉については大変重要であり、他の施策にしわ寄せするなというお話もあったが、福祉は絶対に外せないと思っている。

◆質問者6

私は賛成する。耐震性のない庁舎を直していくより、別のところにしっかり建てて、もし地震が発生し、市の庁舎が倒れたりしたら、怪我した人は大変。直している間は仕事ができない。場所が変わると印鑑証明を取りに行くにも遠いと思ったりしたが、住民票や印鑑証明などは出張所で取れる。駅前に立派な庁舎が建っていることは多いこと。

◆質問者7

東南海地震の確率が非常に高いと報道されており、市役所は建替えなければならないことは理解する。広報の4月1日号に当年度予算が412億と載っている。市庁舎の建設100億円を現在の市民11万7千人で割ると一人当たり8万5千円、世帯数5万5千世帯で割ると18万1千円。まちづくりプラン2020の人口構成比では、15歳未満が13%、労働人口が58%、高齢人口が29%となっている。市民の経済がもつのか、支払いは何年で終わるのか教えて欲しい。相当重い負担になるので50億円位で作ってしまえば良いのではないか。

◆質問者8

資料の検討委員会のところで「長期的なまちづくりの取組へつなげ」とあるが、連続立体交差事業が完了した折、駅北開発事業計画が存在していた。今、駅北はだんだん寂れていく一方。このような状況で駅北に庁舎を移転した場合、検討委員会が望むまちづくりができるか非常に疑問。現庁舎は角地で、車での利便性は非常に良い場所にある。防災拠点としての対応も優れている。そういう意味で現庁舎での建替えを希望する。また、地方自治法第4条第3項における議会承認は本当に得られるのか。議員の責任も問われる。

◆質問者 9

今、こういう風に話し合いをしているのは高齢の方ばかり。もっと若い方にこれからの防府市のまちづくりとかを聴かれた後で検討されたほうが良い。

提案だが、中学校や高校などで出前授業ができないだろうか。

◆質問者 1

若いものの意見を聴くべきだというのはそのとおり。3月議会の決議も全会一致であり、非常に重く受け止めて、今からこの件に当たってもらいたい。

●市長

将来のまちづくりを考えて、駅北エリアでしっかりしたものを作りなさいというご意見は、検討委員会の結論としていただき、それを市民の皆様にはほぼ同時期にお伝えしたく、4月1日から歩かさせていただいている。行政は判断いただいたことを真摯にお伝えしており、最終的な決断は、議会がなされること。3分の2の同意がないと移転することはできない。過半数の支持がないと現庁舎に建てることもできない。いずれにしても議会の承認が必要。ご理解をいただくべく、議会にも説明させていただかなければならない。

若い人からの声をというご意見はもっともなご意見で、検討委員会にも若い人が入っておられたが、それをもって若い人の意見というわけではないだろう。私が接触している若い人たちからは、将来を考えて、まちづくりの点からしっかりしたものを作れとよく言われる。

鉄道高架事業、再開発事業など先人が500億かけてできた世紀の大事業、昔のままの姿をちょっと想像していただくと、今では隔世の感がある。先人のご苦勞の中で現有地が決められ、後世のもののことを慮りながら考えていくことが現世に生きるものの責任の一つかも知れない。

出前授業については、教育委員会とも相談してみないといけないが、常に頭の中に入れておきたい。

何度も言うが、決めたわけでは全くない。今、こういう状況にあるということを報告しつつ、ご意見を賜っているということでご理解をいただきたい。